

2017 スーパー耐久 第5戦 富士10時間耐久レース

2017/9/6

Racingline PERFORMANCE GOLF TCR

ポールポジション//ファステストラップ//優勝を達成!!!



前回の鈴鹿戦で発生したトラブルを解消し今回のSUPERTECに挑んだ。今回はドライバーに脇阪寿一選手が加入してくれ、チームに素晴らしい経験値を与えてくれた。8/31(木)からスタートした練習走行からマシンの調子は良く、また脇阪選手も耐久レースに向けてセットアップの方向性を明確に示してくれ、マシンは走る度に安定感を増して行った。9/1(金)の走行では、満タンテストや、予選シミュレーションもこなす事が出来、予選、決勝に向け順調に全てのメニューを消化する事が出来た。

9/2(土)の予選は、Aドライバー予選をPhilippe選手、Bドライバー予選を密山選手、Cドライバー予選を脇阪選手が担当。まずはPhilippe選手がAドライバー予選で2位通過。Bドライバー予選の密山選手は1位で通過。Cドライバー予選の脇阪選手も軽々と1位通過。これで目標だったポールポジションを獲得。

9/3(日)決勝。スタートはPhilippe選手が担当し、その後、密山選手、脇阪選手と回していく作戦。スタートのPhilippe選手は一旦、2位に下がるが直ぐに首位を奪還し、安定した走りを披露。Philippe選手の後を引き継いだ密山選手、脇阪選手も後続をコントロールする走りを見せ、終盤には2位に8周差を付ける事に成功する。その後は優勝を盤石なものにする為、酷使したブレーキパッド交換を行い、最終的には2位に5周差を付け、参戦2戦目にして、ポールポジション/ファステストラップ/優勝、というグランドスラムを達成する事が出来た。

チームは最終戦の岡山も優勝を狙い、マシンを進化させて行く。

予選1位 Philippe Devesa 1:52:922 /密山祥吾 1:52:026 /脇阪寿一 1:52:114

決勝1位 Philippe Devesa 1:54:359 /密山祥吾 1:53:321 /脇阪寿一 1:52:815

Racingline

PERFORMANCE

